



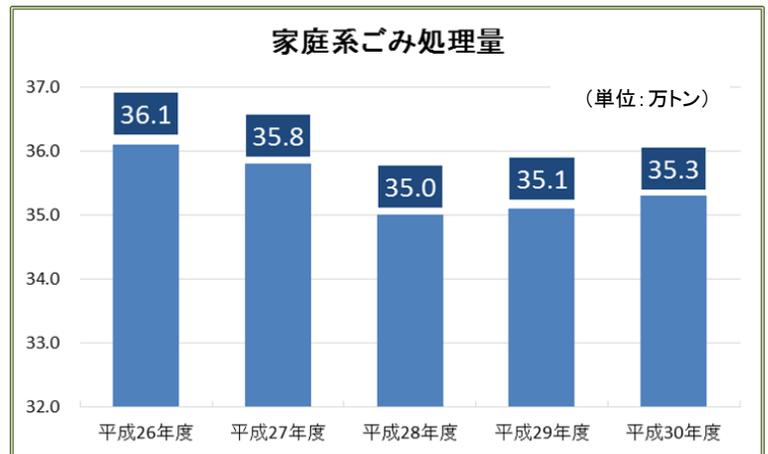
大阪市のごみ減量は伸び悩み・・・



大阪市における平成30年度の家庭系ごみ処理量(焼却量)は**35.3万トン**でした。ごみ処理量のピークであった平成3年度の72万トンから比べると半減していますが、近年は横ばいとなっています。

事業系を含めた大阪市全体の一般廃棄物の処理量も93万トンとなっており、平成29年度以降、増加傾向にあります。

地球環境の負荷を軽減し、持続可能な循環型社会の形成をめざすためには、市民の皆さまと連携し、これまで以上にごみ減量に向けた取組みを進める必要があります。



再資源化できるものが、たくさん捨てられています

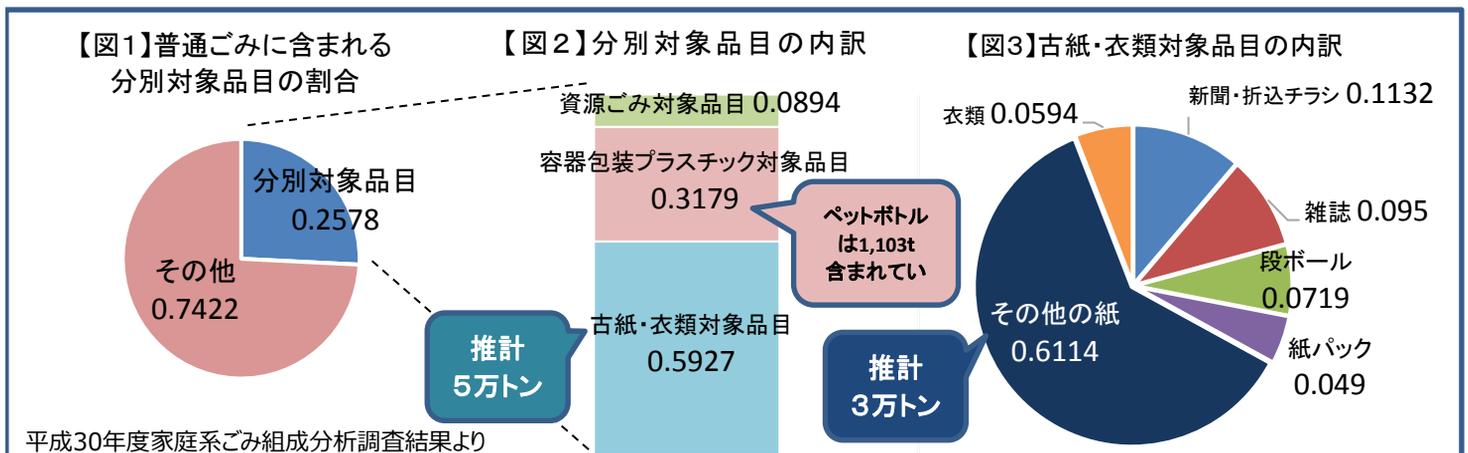
平成30年度に実施した「家庭系ごみ組成分析調査」の結果によると、市内で普通ごみとして捨てられたごみの4分の1にあたる26%が分別対象品目でした(図1)。平成30年度の普通ごみ量33万トンから単純に推計すると、1年間でおよそ**9万トンも資源化できるものを焼却処理**していることになります。

また、普通ごみの内訳をみると、古紙・衣類対象品目が59%(推計5万トン)も含まれており(図2)、そのうち61%(推計3万トン)を「**その他の紙**」が占めていました(図3)。

大阪市では、市民の皆さまのご協力をいただきながら、「資源ごみ」、「容器包装プラスチック」、「古紙・衣類」を分別収集していますが、まだまだ資源化できる品目が「普通ごみ」に含まれており、その**半分以上が「古紙」となっています**。

また、ペットボトルも「普通ごみ」の中に、年間1,103t含まれており、これらは焼却処理されています。

混ぜれば「ごみ」、分ければ「資源」という言葉がありますが、ごみの減量には、皆さんの協力が必要です。ごみ箱に捨てる前に、もう一度、分別対象でないか確認をお願いします。



プラスチックごみ問題

「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」



海には既に1億5,000万トンものプラスチックごみがあり、2050年には海にいる魚と同じ量にまで増えると予測され、それらがマイクロプラスチックとなって、海の生態系に広く入り込み、食を通じて人体にも取り込まれている可能性が指摘されているなど大きな問題となっています。

これらプラスチックごみは、内陸のごみが雨で流れて、川から海へと流出するものも多く、街でのポイ捨ても問題となっており、環境を守っていくには皆さんの協力が必要です。

「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」

プラスチックは、安価で使いやすいことから、20世紀半ば以降、我が国においても急激に普及し、現在、私たちの生活は大きく依存したものとなっています。その一方、不用意にごみとして捨てられるプラスチックなどが、河川などを通じて海へ流れ込み、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、近年、地球規模で問題となっており、細分化されたマイクロプラスチックによる生態系への影響も懸念されています。

2019年G20大阪サミット及び2025年大阪・関西万博の開催地として、SDGs(持続可能な開発目標)先進都市を目指す大阪は、プラスチックの資源循環を推進し、プラスチックごみによる河川や海洋の汚染の防止に率先して取り組み、国際社会に貢献していく必要があります。

このため、府民・市民や企業等と連携し、海洋プラスチック汚染の実態の正しい理解を深めるとともに、使い捨てプラスチックの削減や3R(リデュース、リユース、リサイクル)のさらなる推進、プラスチックごみのポイ捨ての防止、紙等のプラスチック代替品の活用など、プラスチックごみゼロに向け、自ら不断の取り組みを行うことをここに宣言します。

2019年1月28日

大阪府知事 松井 一郎
大阪市長 吉村 洋文



関西広域連合においても「関西プラスチックごみゼロ宣言」を行いました。

「大阪エコバッグ運動」を推進しています

おおさかプラスチックごみゼロ宣言の取組みのひとつとして、急な買い物の時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する「大阪エコバッグ運動」を推進しています。

レジ袋の年間使用料は、約300億枚といわれており、国民1人あたり年間約300枚となります。

大阪府は、昨今の国内外におけるプラスチックごみ削減に向けた動向を受け、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の更なる推進などプラスチックごみゼロに向けて、協力事業者・市民団体と、令和元年6月7日(金曜日)に「大阪市におけるレジ袋削減に関する協定」を締結しました。



協定締結式の様子 (令和元年6月7日)

協定締結先

事業者 (五十音順)

イオンリテール株式会社近畿カンパニー
イズミヤ株式会社
株式会社イトーヨーカ堂
株式会社エコーブ近畿
生活協同組合おおさかパルコープ
カネート株式会社
株式会社関西スーパーマーケット
株式会社光洋
株式会社コクミン
株式会社ダイエー
株式会社阪急オアシス
株式会社平和堂
株式会社マルヤス
株式会社ライフコーポレーション

市民団体

なにわエコ会議



食品ロスへの取り組み

～フードドライブ～



「フードドライブ」という言葉は聞いたことがあるでしょうか。フードドライブとは、ご家庭で余っている未開封のもので、常温で保存でき、賞味期限が一定期間(受付先が設定する期間)以上残っている食品を持ち寄り、社会福祉施設や団体等に寄付する活動です。

フードドライブも食品ロス削減につながる大切な取り組みの一つです。

手つかずのまま捨てられている食品や食べのこしといった「食品ロス」。

食料の多くを輸入に頼っているにもかかわらず、日本の食品ロスは年間約646万トンあると言われています。(農林水産省および環境省 平成27年度推計)

これは、世界全体の食品援助量(約320万トン)の約2倍に相当します。

国民1人あたりでは、毎日、おおよそ茶碗1杯分(約139g)の食品を無駄にしていることとなります。



大阪市の一般家庭からは・・・

排出される普通ごみの3割以上が生ごみで、そのうち約4割の年間約4万トンが「食品ロス」です。

市民1人あたりにすると・・・

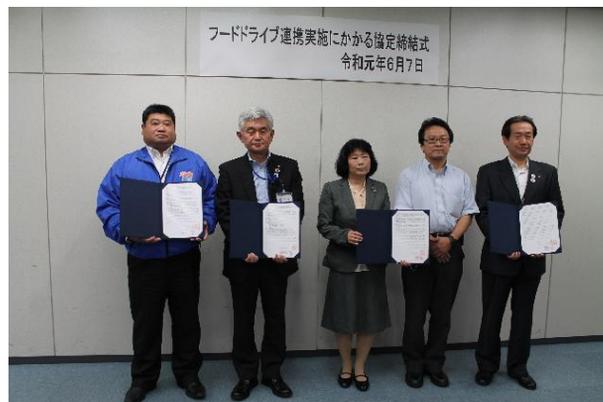
1年間でごみ袋(45リットル)2袋分に相当する食べられる食品が無駄に捨てられているのです。

フードドライブ連携実施にかかる協定を締結

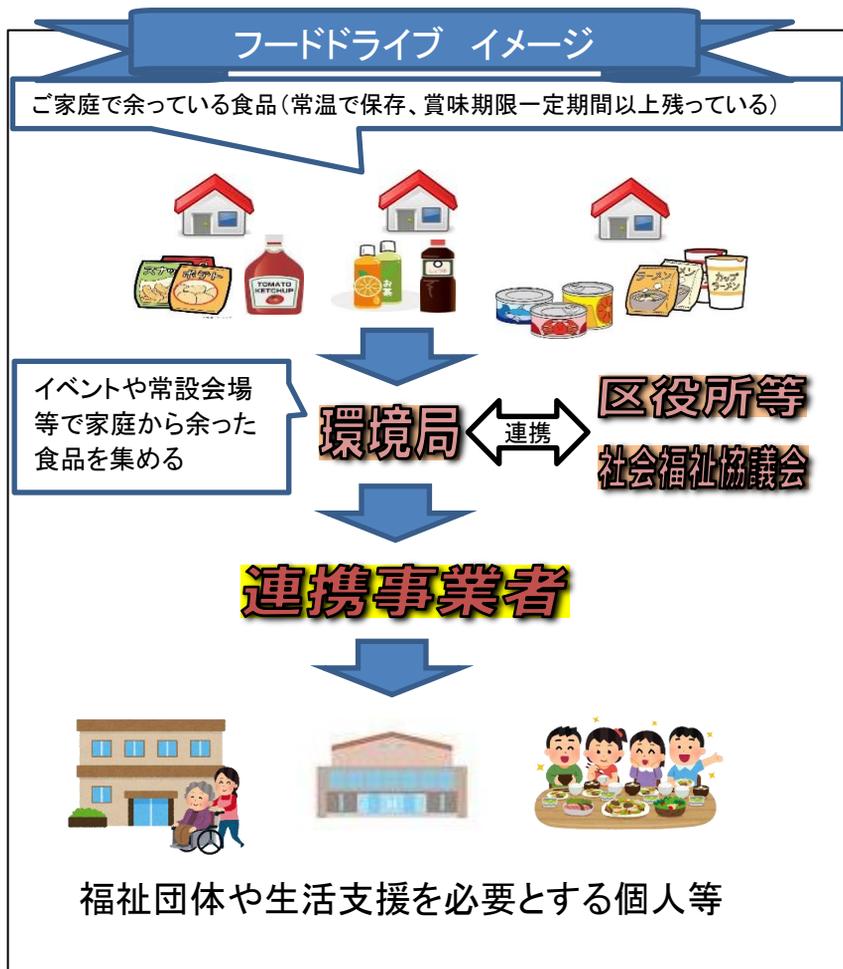
大阪市は、「食品ロス」削減の取り組みの一つとして、家庭で余った食品を活かせる「フードドライブ」の仕組みを構築するため、回収した食品を福祉団体等へ無償譲渡するノウハウを有する事業者と、令和元年6月7日(金曜日)に「フードドライブ連携実施にかかる協定」を締結しました。

協定締結先

生活協同組合おおさかパルコープ
特定非営利活動法人ふーどばんくOSAKA
(五十音順)



協定締結の様子 (令和元年6月7日)



ごみ減量フェスティバル
ガレージセール イン OSAKA TOWN
令和元年10月12日(土) 10:30~14:30 開催

大阪城公園太陽の広場において、10月の「ごみ減量強化月間」のイベントとして、ごみ減量フェスティバル「ガレージセール・イン・OSAKA TOWN」を開催します。(主催:大阪市環境局)

この、イベントにおいても、フードドライブを実施いたします。ご家庭で余っている食品があれば当日お持ちください。

廃棄物減量等推進員の皆様には、実施に向けて今年度もご協力お願いいたします。



2019年度 ごみ減量市民リーダー養成連続セミナー

「ゼロ・ウェイストへの道」



SDGs(持続可能な開発目標)でも2030年までに廃棄物の排出量を大幅に削減することが明記され、ごみの減量は今や世界の人々の約束事です。最終的に目指すところは、ゼロ・ウェイスト=ごみや無駄をなくすこと。その実現に向けて動き出している国内外の事例を交え、多角的にごみゼロへの道を探ります。

- 会場 大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス
- 参加費 無料(定員80名 先着順)
- 主催 大阪ごみ減量推進会議
- 共催 大阪市
- 協力 なにわエコ会議

第1回 2019年9月13日(金) 14時~16時45分
 テーマ ゼロ・ウェイストとは何か
 講師 浅利 美鈴さん(京都大学大学院地球環境学学准教授)



第2回 2019年10月25日(金) 14時~16時45分
 テーマ 天神祭ごみゼロ大作戦が目指すもの
 講師 岡見 厚志さん(WorldSeed 代表)



第3回 2019年11月22日(金) 14時~16時45分
 テーマ 世界のゼロ・ウェイスト運動最前線
 講師 佐藤 友啓さん(ゼロ・ウェイスト活動家、イタリア在住)



第4回 2019年12月11日(水) 14時~16時45分
 テーマ 都市水循環系におけるマイクロプラスチックに関する研究の現況
 講師 田中周平さん(京都大学大学院地球環境学学准教授)



第5回 2020年1月15日(水) 14時~16時45分
 テーマ ゼロ・ウェイストへの道~ゼロ・ウェイスト宣言自治体シンポジウム
 パネリスト 徳島県上勝町、福岡県大木町、熊本県水俣市、奈良県斑鳩町
 コーディネーター 坂野 晶さん(NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー理事長)



*全5回 花田 眞理子
 コーディネーター (大阪ごみ減量推進会議会長、大阪産業大学デザイン工学部教授、同大学院人間環境学研究科教授)



会場のご案内



〒530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3
 大阪駅前第3ビル 19階
 (高層用エレベーターをご利用ください)

JR「大阪駅」より徒歩約5分
 JR「北新地駅」より徒歩約4分
 阪急「梅田駅」より徒歩約9分
 阪神「梅田駅」より徒歩約4分
 地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約5分
 地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約5分



お申し込み方法

- ・お住まいの地域を担当する環境事業センターへ申込みください。また、参加に関する問合せなど、ご不明な点等がございましたら、ご連絡ください。(下記参照)
- ・推進員の方の交通費は、ご自宅から会場まで分をお支払いします。

お住まいの地域	担当の環境事業センター	電話番号	FAX番号
北区・都島区	北部環境事業センター	06-6351-4000	06-6351-4049
淀川区・東淀川区	東北環境事業センター	06-6323-3511	06-6370-3951
旭区・城東区・鶴見区	城北環境事業センター	06-6913-3960	06-6913-3674
福島区・此花区・西淀川区	西北環境事業センター	06-6477-1621	06-6477-4602
天王寺区・東住吉区	中部環境事業センター	06-6714-6411	06-6714-7787
中央区・浪速区	中部環境事業センター出張所	06-6567-0750	06-6567-0721
西区・港区・大正区	西部環境事業センター	06-6552-0901	06-6552-1130
東成区・生野区	東部環境事業センター	06-6751-5311	06-6753-3041
住之江区・住吉区	西南環境事業センター	06-6685-1271	06-6685-1282
阿倍野区・西成区	南部環境事業センター	06-6661-5450	06-6653-7849
平野区	東南環境事業センター	06-6700-1750	06-6706-2007